

地球環境を守るための視点

市民の方からのご指摘・ご提案

地球環境を守るために、考えるべきこと、できることはたくさんあります。市民のみなさんからのご指摘の中から、2つ取り上げます。

▼下石井公園での芝生化社会実験。天然芝にすべき

岡山市は11月～12月に、下石井公園において人工芝で芝生化の社会実験を行いました(写真)。ご指摘は「検討の選択肢に天然芝とともに人工芝があるのがよろしくない」というものです。人工芝がマイクロプラスチックとなり、河川・海洋へと漂流していくからです。魚が食べるなど大きな問題になっています。注視していきます。



▼市役所や公民館に、マイボトル専用給水機設置



「無料で水補給ができるスポットが必要」と以前よりご提案がありました。岡山市は協力企業から機材を無料で借り受け、11月から設置可能な市役所(写真)や公民館に取り付けています。ペットボトル使用の削減につながります。

こんなスポット/「絶滅しそうな昆虫たち」展

環境学習センター「アスエコ」(北区下石井)で、企画展示「絶滅しそうな昆虫たち」が、2021.11.4～2022.3.31の日程で行われています。岡山で絶滅しそうな昆虫を知ること、現在の地球環境について学ぶことができるビジュアルにもわかりやすい展示です。昆虫はとても多様で、地球の大先輩であることを実感しました。くわしくは、アスエコ(086-224-7272)まで。



編集後記 ★「みつカフェ」(岡山御津高校)1周年の12月メニューに、「コノヒトカン」の提供がありました。

肉と魚のロス食材を蘇らせた物語りっぱいの缶詰です。美味しい。



のぞみ日誌から

祝・創立50周年 津島小学校 & 津島学区スポーツ協会

2021年に50周年を迎え、津島小学校は10.27に記念式典、10.29に記念落語寄席等。スポーツ協会は12.26に記念式典。コロナ禍、工夫のなかでの実施に敬意を表します。子どもと地域を育んでくださり感謝しています。



slowcafe タンポポ/こころのアート展 (10.28)

市内の精神・知的障がい者の事業所の皆さんの作品に込められた想いが伝わってきます。同時開催の大西暢夫写真展は、重度障がいがある人達の暮らしに密着したもので、作業療法士と職人による心通う補装具の製作が圧巻でした。

御津・獅子舞シンポ&フェスタ

御津獅子舞継承活動実行委員会が、岡山御津高校と朝日塾中等教育学校の高校生たちとも行っている、シンポジウム「伝統文化の継承と進化」(10.10)とフェスタ(11.6～7)に参加。獅子舞は、生活そのもの。人づくり、地域づくりという想いが伝わってきます。



ぐる一創10周年記念イベント (12.20)

「子どもの声から始めよう。～実親を離れて育った若者の声から子どもとの関わりを考える～」に参加。里親家庭、児童養護施設、特別養子縁組で育った若者が、深く優しく実態や想い、そして課題を伝えてくださいました。感謝。皆さんは、私たちの宝です。



「岡山きずな」での年末年始



生活困窮者の命を守りつなぐ活動を続ける「岡山きずな」。毎年、年末年始(12.29～1.3)炊出しボランティアに参加をして、ともに過ごします。今回はコロナ禍であり、幅広く広報。お弁当の受取りに、小さな子ども連れのお母さんたちの姿もありました。

岡山市議会議員

会派：グリーン

No.59

2021年11月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2022年1月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



2022年は「飛翔」の年へ — コロナだからこそ「誰一人とり残さない」 —

* つなぐ・つなげる・つながる *

* ハッピープライドの輪を広げよう *

「飛翔」。2022年を迎えての私の想いです。社会も私自身も、コロナ対応で縮こまりがちな羽を、自分らしく広げたいものです。

1月9日に岡山市成人式がありました。一斉休校で卒業式を迎え、大学進学をしても授業がオンラインだった世代です。そんな若い皆さんが決めた今回のテーマは「つなぐ つなげる つながる ～それぞれの想い～」。

コロナ禍、若者たちの想いが伝わってきます。コロナ対応で、年末年始、岡山市は生活困窮者の相談窓口を民間委託する形で設置しました。また年末ギリギリに、自立援助ホームの子どもに関する給付金10万円が、保護者ではなく、施設管理者が申請により受給者となることができました。コロナ禍だからこそ、「誰一人とり残さない」。もっとも達成が遠い立場の人々とつながり、みんなで飛びたいです。

2021年の出来事で忘れられないのが、岡山初の「レインボーパレード」です。

性的マイノリティの存在は特別ではない。子ども、親、友人、同僚…。そして理解しあえる場があるよ。との想いで、街は虹色でいっぱいになりました。沿道の皆さんの温かい応答が嬉しかったです。パレードを心から願い、長年、努力をしてこられた皆さんに感謝をし、その場に居合わせて感無量でした。

岡山市でも2020年にパートナーシップ宣誓制度がスタートし、2022年度から岡山市職員には、婚姻関係にある配偶者同様に、結婚・



中国地方初の「2021レインボーパレード」。カラフルでした(2021.11.28)

忌引き、介護休暇などの休暇制度が導入されます。

このパレードは、どんな人でも「ひとりじゃないよ」がメッセージ。とくに子どもたちに届けたい。「ハッピープライド」の輪が更に広がる新しい年にと。

おにき・のぞみ

11月議会 個人質問から

質問項目

1. 新型コロナウイルス感染症
2. やさしい日本語（多文化共生）
3. 香害
4. 岡山北斎場



11月議会では、不登校児童生徒を支援する「適応指導教室」を「児童生徒支援教室」に名称変更する条例改正をしました。適応指導という言葉は問題ありと考えていたのでよかったです。★質問が多かったのは、「コロナ」と合わせて「選挙」についてです。選挙公報が、市長選・衆議院選とも戸別配布可能な業者がないために新聞折込になり、直接、届かない世帯が増えたこと。そして衆議院選の投票券送付の遅れです。選挙広報の戸別配布は検討するとのことでした。

1 新型コロナウイルス感染症

岡山市。現時点での5～11歳のコロナでの重症者・死亡者はいない

5～11歳の幼い子どもへのワクチン接種の方針が具体的になり、保護者の方から、子どもへの接種には不安が大きい。デメリットも含めて判断のための情報がほしいとの声をいただきます。

Q: ワクチン接種後の副反応疑い報告数は。

感染症対策担当局長: 11.14集計分（厚労省）。全国で約29,000件の報告があり、20%程度（5,942件）が重篤例、死亡例は4%（1,060件）である。*（ ）内件数を補足

「疑い」報告例なので、岡山市単独分の公表予定はないと答弁。情報公開をと。

Q: 5～11歳。コロナでの重症者数などは。
感染症対策担当局長: 5～11歳の新型コロナウイルスでの重症例、死亡者数は、国のHPによると、R 2.9.2～R 3.12.7に、10歳以下の重症例は6人、死亡者数は0人。岡山市では、現時点で5～11歳の重症者、死亡者はいません。

子どもに特化したページを持つ自治体のHPがあり、分かりやすく示す必要があります。ワクチン接種について、「基本的には本人の意思の下での接種。強制でない旨の周知を図りたい」とも答弁しています。

2 やさしい日本語（多文化共生）

公民館などとの連携も視野に地域にどうやって広げるのかを検討

「やさしい日本語」は、普通の日本語よりも簡単で分かりやすい日本語です。

西大寺公民館では、町内会、高校生、留学生など地域の皆さんが集まって、「やさしい日本語」の研修をしています。言い直したり、書き換えたりして伝えることが第一義ですが、研修に参加をして、地域の活動に外国人が参加をしたり、いろんな課題とともに取り組むという多文化共生の視点からも有効だと感じました。

Q: 地域で、計画的に進めませんか？

市民協働局長: 市内には約100の国や地域の方が暮らしている。生活のルールや情報をお知らせするため、誰にでも分かりやすい「やさしい日本語」を普及させる必要がある。今後、公民館などとの連携も視野に、地域にどう広げていくか検討したい。



*岡山市にはガイドラインの充実を求めます。

3 香害



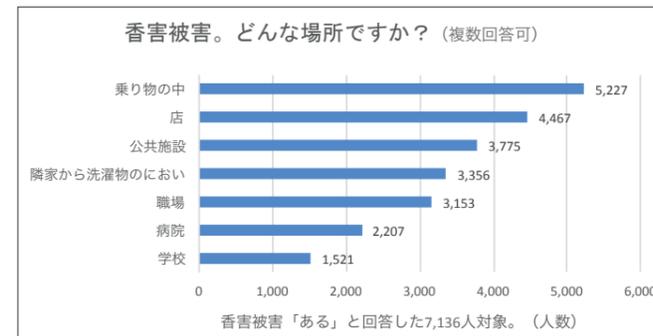
ポスター掲示。岡山市ホームページ、LINE、メルマガなどで知らせる

柔軟剤や香り付きの合成洗剤、消臭剤などの香りで、頭痛や吐き気がするという相談が消費生活センター等にあることを踏まえ、消費者庁は、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省の関係5省庁で、啓発ポスター「その香り 困っている人がいるかも?」を作成しました。

「香害」アンケート調査から

2020年に「香害をなくす連絡会」がアンケート調査を行いました。香りのついた製品で具合が悪くなった7,136人から無回答を除いた6,858人のうち、18.6%が学校や仕事に行けなくなり深刻です。

症状で多いのは、頭痛67%、吐き気64%、思考力低下や咳が33%です。場所については、乗り物の中73.5%、店、公共施設、隣家からの洗濯物、職場、病院、学校と続きます。



理由が分からずに体調が悪いのは「香害」によるものかもしれません。自分には快適な香りだとしても、それによって困っている人が身近にいるかもしれないことを理解して配慮することが必要です。

*グラフはアンケート調査から作成

4 岡山北斎場



市議会議員による施設見学。写真は炉室（2022.1.11）

12.6に供用開始。環境・防災面の安全・安心、健やかな地域であるようにと

Q: ①工事終了後に行ったのり面と擁壁の測量調査結果は。②目安値を大きく越えるメタンガス濃度は大丈夫か。③排気ガスの拡散状況調査はいつ行うのか。

市民生活局長: ①のり面と擁壁の測量調査結果は、測量誤差の基準内の値。②メタンガスの目安値は閉鎖空間の掘削作業中における安全対策を講じる基準で、問題となるガスは検出されていない。③排気ガスの調査は1月中旬に行い、3月中に結果がでる。地域の皆さまに知らせる。

Q: 健やかな地域を目指し、市長の決意を。
市長: 環境基準など守るべきものは守り、地元の方々の話もよく聞き対応をする。

▽ 11月議会の陳情から ▽

*「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋立て等に使用しないよう国に意見書提出を求める」陳情が全会一致で採択され、国に意見書が出されることになったことは嬉しかったです。

この陳情は宗教者の皆さんから出されたものでした。真摯な働きかけに感謝します。政令市で5番目ということです。

*残念だったのは、「全小中高の女子トイレに生理用品の常備を求める陳情」が17対26、賛成少数で不採択になったことです。「生理のことをナチュラルに話すことができる」意識・環境作りも必要です。